

コミュニティ・スクール新聞

発行所 藤枝
中学校区
学校運営協
議会事務局

学校運営協議会

藤枝中学校、稲葉小学校に続き、残り2校の部会が開催されました。主な内容を紹介します。

6月30日

藤枝小学校部会

・9年間で子どもを育てる。そのため、中学と同じ教育目標にした。
・自分が子どもの頃は、このような仕組み(学校運営協議会)はなかった。地域のコミュニティが希薄になり、地域・家庭の教育力の低下が背景にある。
・小学校と中学校の連携が進むなか、小・小連携の成果も出て、中一ギャップが軽減され、中学校入学時のスムーズな入学へと繋がっている。

宿場町 それとも城下町

古くから宿場町として栄えてきた私たちの町。かつては吹屋町や鍛冶町などもありました。しかし、よく考えてみると田中城という堅固な城があったのですから城下町ではないかという疑問を抱いた方もいるのではないのでしょうか。実は、田中城は周

コラム

囲が湿地帯に囲まれ攻めにくい堅城でした。そのため、宿場町と城を離しておく必要があったのです。江戸時代には大祭りの山車が城の中に入っていたこともあったようです。そこから、城と町の繋がりが深かったのでしょう。藤枝宿は宿場町であると同時に城下町でもあった町なのです。

・旧東海道の中心地、蓮華寺池公園も隣接しており、地域の教育資源を有効に活用したい。

・中央幹線道路ができた関係で、交通安全上の支障が生まれている。信号機の早期の設置に向けて努力する必要があるなど、各委員から地域の特性を生かした中身の濃い会になりました。

7月12日

藤枝中央小学校部会

・伝統文化である子ども神輿や大祭りの継続の難しさ、その背景にある少子高齢化や地域住民の繋がりの弱体化など構造的な課題がある。
・今後、お祭りを「手段」として地域を巻き込んでいく必要がある。再来年の次回大祭り

を目指して子どもの参加や学校のかかわりなど、戦略を立てたい。
・子どもと地域の大人が一緒に運動会をすることはできないか。また以前のようなPTT大会を復活させる位のエネルギーを使わないと、現状は変わらない。



藤枝大祭りを学ぶ

7月5日、藤枝中2年生が総合的な学習の時間(ふるさと学習)を活用して藤枝大祭りに関して学びました。日本舞踊師範の花柳照織さんや、長唄演奏家の杵屋喜沙羅さん、藤枝大祭り連合会会長の秋田弘武さんをゲストティーチャーとして招きました。生徒たちは、本物に触れる機会になりました。このあとは、夏休みに各自のテーマに沿って大祭りを調べ、9月には発表会を予定しています。この学習が、今回や将来の大祭り参加に繋がることを期待したいと思います。尚、この模様は7月7日の静岡新聞に掲載されました。

歴史体験クラブ

7月3日、藤枝小学校の歴史体験クラブの児童約30名が学校近くの歴史について現地を訪れ学びました。コミュニティ・スクールのダイレクターが講師を務めました。

1252年にタイムスリップしたという想定で、当時、6代鎌倉将軍に就くために京都から鎌倉に向かった宗尊親王の目線での体験学習のスタートでした。鎌倉時代の東海道を歩きながら平家物語に登場する熊谷次郎直実ゆかりの蓮生寺や若王子神社、洞雲寺を訪れました。歴史的に有名な多くの場所が身近にあることに驚いていました。

